

無料（ご自由にお持ち帰り下さい）

編集・発行／茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121 ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>

2018年
Vol.29

ほっとタイムズ

病院長メッセージ

「県民、患者さんへのサービス向上をめざして」

教えてドクターQ&A 緑内障について



2月20日PCUひなまつり会での集合写真

特集『人工関節センター』……………2～3

ドクター紹介 ……………5

乳腺外科 部長 北原美由紀
乳腺外科 医員 澤 文

各科各部紹介 ……………5

第15回 地域連携室

トピックス ……………6

垣添先生講演会レポート
防犯訓練を行いました

トピックス ……………7

PCUでクリスマス会が開かれました！
第96回 ふれあいコンサート

連携医療機関ご紹介 ……………8～9

いけうち医院
石本病院
かさま歯科

地域連携だより 各診療科のご紹介 ………10

総合診療科

皆さんの「歩く」未来をつくります

人工関節手術（人工関節置換術）は関節疾患の治療法として世界的に広く行われている一般的な治療法です。人工関節に用いられる新素材の開発や手術法の改良により、その手術件数も年々増えてきております。当院でも人工関節センター長の林医師を中心に最新の治療が行われております。そこで最新の人工関節手術（人工関節置換術）のこと、また人工関節センターについてお話をうかがいました。



人工関節センター センター長
はやし ひろし
林 宏 医師

Q. 当院にて人工関節センターを昨年の7月に開設されたそうですね。どのような経緯で開設されたのですか。

林宏医師(以下、林) 皆さんの「膝が痛い」「股関節が痛い」を治すために、人工関節センターを開設いたしました。私は2007年当院就任以後、人工関節手術（人工関節置換術）にて地域の皆さんに「痛みのない人生」の提供をモットーに診療を行ってまいりました。ここに総合的により良い医療を提供できる人工関節センターを開設する運びになりました。

Q. 人工関節手術（人工関節置換術）とはどのようなものですか。

林 傷んでしまった、軟骨や変形した骨を人工の骨、軟骨に置き換える手術です。50年以上の歴史があり、今後より進化していきだるう手術です。日本では年間15万人の方が手術を受けています。

Q. それでは、当院における人工関節手術についても教えていただけますか。

林 日本国内において最先端の手術術式、人工関節を使用しています。また、患者さま一人一人の性差、大きさ、形状に合った人工関節を選択するため、無理のない手術が可能で、術後の痛みも軽くなりました。

Q. 入院期間はどれくらいですか。また人工関節手術を受けるにあたって年齢制限とかはありますか。

林 3～4週の入院です。この期間にリハビリも行うため、ご自宅に無理なく帰れます。若い方（50代は）1週間程度で自宅に退院される方もいます。



～人工関節センター～



Q. 手術後のリハビリテーションのことも教えてください。

林 立ち上がる、歩く 関節を曲げる、などの訓練を、専門の理学療法士が1対1で付き、行います。同じ手術を行った患者も大勢いますので、皆さん励ましあいながらリハビリを行っています。

Q. 術後の生活についても少し教えていただけますか。

林 先程のリハビリテーションの所で話しました通り、専門の理学療法士が人工関節の術後のリハビリをご指導します。充実のリハビリテーション後に安心してご自宅にお帰りいただけます。また、以前は人工関節では「脱臼」の懸念により、内股禁止とか正座禁止などがありました。当院の術式、人工関節は一切制限がありません。術後ストレスのないリハビリ、生活が可能です。ゴルフや農業などスポーツ、お仕事の制限も一切ありません。

Q. 関節の痛みや生活における制限などから解放されるなんて、まさに人生を変える手術ですね。

林 そうなんです。人工関節を受けた患者さまは、皆さん明るくなります。痛みがないため、外出にも積極的になり、若々しくなります。「もっと早くやればよかった」と言われる方がほとんどですね。人生は今や90年の時代。生活の幅が広がる人工関節はまさに、あなた（人生）を変えます。

Q. それでは先生から読者の皆さまにメッセージをお願いします。

林 膝、股関節が痛い場合は人生を損していることがあります。まず外来に来ていただいて診断を行いましょう。程度が軽くまだ手術を行わないでリハビリの指導をさせていただく方も大勢います。また手術後も定期的に外来に来ていただき、様々な健康相談を行っております。まず外来に来てください。

外来
予約

0296-77-5489 (直通)

【診療日】月・火・木曜日 9時～12時



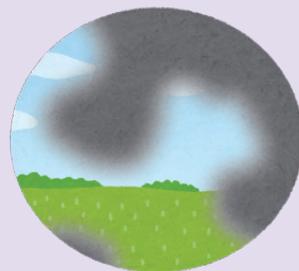
大切な目を守りましょう ～緑内障のこと～

教えてドクター

Q&A

Q：緑内障とはどんな病気ですか。

A： 眼球から脳へと視覚情報を伝えている視神経が障害されて、視野が欠けてしまう病気です。日本人の失明原因の第一位となっており、40歳以上の20人に1人の割合でかかるといわれています。原因として、一般的には眼圧との関連が考えられています。眼圧が高いほど、相対的には、病気の進行が速くなる傾向があります。しかし、眼圧が低い方も、緑内障になってしまう場合もあり、単純に眼圧が高い、低いだけでは緑内障かどうかを判断することはできませんので、健診や眼科でも診察が必要です。



Q：緑内障の症状とはどのようなものですか。

A： 視野が欠けてきます。また、視野欠損が中心近くまで及ぶと視力低下をきたします。残念ではありますが、進行した神経障害が回復することはありませんので、緑内障の症状も原則的に回復することは望めません。緑内障は自分で視野欠損に気付くことは困難です。逆に言うと、自分で気付くような視野欠損は緑内障がかなり進行してしまった状態となりますので、健診などを利用して、症状がないうちに緑内障が疑わしいかどうかを調べておくことが大切です。

Q：緑内障にならないための予防法はありますか。

A： 残念ながら、日常生活の注意や生活習慣で、緑内障の予防法はありません。

Q：治療法にはどんなものがありますか。

A： 治療の目的は神経障害を進まないようにするために、眼圧を下げるのが中心です。（神経障害を回復させる手立てはありませんので、病気を根治させる治療方法はありません。）眼圧を下げる方法として、薬物療法と手術があります。また、薬物療法が治療の中心で、薬に効果がない場合に手術を行います。近年は薬の選択肢が増えてきており、多くの場合は目薬をつけることだけで治療ができることがほとんどです。



矢部先生から
ひとこと



眼科 部長
やべ 矢部 文顕 先生

緑内障は予防というよりは、早期発見早期治療で失明を防ぐことが可能です。まさにこのことが、長寿社会で皆さんが失明することがないように知っておいて頂きたい事実です。

そのために、皆さんお願いしたいことは

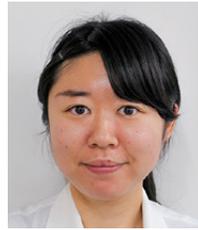
- ①健診を受ける（一般的なもので大丈夫です）。
- ②健診で緑内障が疑われたら、早めにお近くの眼科に相談する。
- ③万一、緑内障になってしまったら、必ず決められた目薬を決められた使い方を使用する（薬によっては、つける回数を増やすと逆に効果が弱まってしまふものまでありますので注意を！）。
- ④緑内障は慢性疾患ですので、診察のたびごとの眼圧に、細々と一喜一憂する必要はありませんが、眼科との縁をくれぐれも切らずに長く通院を継続してください。

ドクター紹介



乳腺外科
部長
きたはら みゆき
北原美由紀

栃木県の間部生まれ、陸上とバスケットボールに打ち込みました。俳優・高倉健さんとハーブ研究家・ベニシアさんのファンです。町医者と災害・紛争地域で活躍する医師になるために外科を選択しました。両親は青果店を営んでいましたが、経済的理由で大学の授業料を全額免除していただきました。消化器内科医の夫と子供3人の5人家族です。仕事と家庭の悩み、葛藤の毎日ですが、家族の協力なしではこの仕事を続けられませんでした。今後女性医師が増え、様々な障壁が待ち受けていると思います。微力ですが、キャリアを順調に積めず苦勞した先輩医師として反省し、これからの女性医師は同じ過ちを繰り返さないよう支援体制を整えたいと考えています。



乳腺外科
医員
さわ
あや
澤

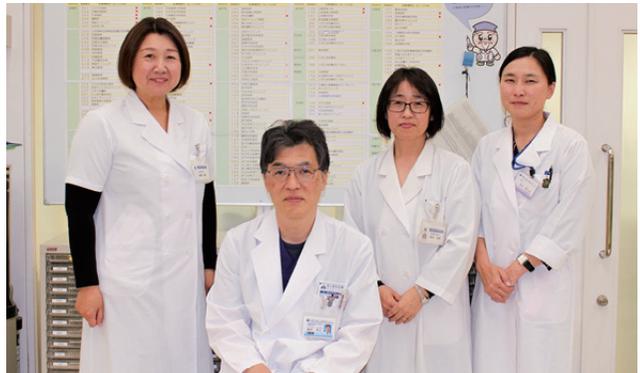
前任者の朝田先生と交代し、2017年10月より勤務しております。私は医師になってから7年目です。

毎日、穂積先生と北原先生と一丸となって診療を行っており、乳腺炎などの良性疾患から乳癌まで乳房に起こるありとあらゆる疾患を診させていただきます。

皆さまに安心して受診していただけるよう丁寧な対応を心がけております。不安なことや疑問点がございましたら遠慮なくご相談いただけますと幸いです。

各科各部紹介 第15回 地域連携室

地域連携室は地域における病院や診療所との医療連携を図り、患者様の受け入れの窓口として、主には紹介状を元に外来予約、検査予約を受けています。昨年度は年間8,000件以上のご依頼をいただいております。他には医療機関からの患者様のお問い合わせや、当院からの他院への外来予約、診療情報の提供依頼や歯科の予約などを現在3人で行っています。当院は直接紹介状を持参いただき、受付時間内に外来受診して頂くことも可能ですが、紹介状を事前に紹介元の医療機関からFAXいただくことにより専門医（医師指定）の予約ができ、カルテ作成等、事務手続きも済ませておくので、待ち時間が短くなりますので是非ご利用ください。



「ひとはがんとどう向き合うか」

日本対がん協会会長 垣添先生講演会レポート

市民公開講演会（平成29年度茨城県がん診療連携拠点病院等研修会）を昨年12月9日（日）に開催しました。

今年は「妻を看取る日－国立がんセンター名誉総長の喪失と再生の記録」で有名な日本対がん協会会長の垣添忠生先生をお迎えし、広く県民のみなさまを対象に講演会を開催しました。200人を超す沢山の方に来ていただけました。寒さと窮屈さで特に出入口付近の方には申し訳ございませんでした。

病変部位スライドがあり、予防できるがんは予防する、早期発見できるがんは検診するといったお堅い医学的なお話しかと思えば、がんであることを受け止めた上で残りの人生を悔いなく生きた先人たちの例を紹介してくださいました。

がんも多彩なら、人も多様である→組合せは無限→正解は一つではない

人間の強さ、弱さをすべて包摂して医療はある

どんな状況に置かれても、人は希望があれば生きられる

という、ご自身の体験に基づく温かいお言葉を会場の皆さんとともに分かち合うことができました。ご参集のみなさまありがとうございました。



講演される垣添先生



超満員のホールにて



当院病院長の挨拶

防犯訓練を行いました

昨年11月に当院にて犯罪の防止と、実際に遭遇した時の現場での対処法を学ぶため防犯訓練を実施しました。当日は茨城県笠間警察署よりお二人の講師の先生をお招きし「笠間警察署管内の犯罪の状況及び女性向けの防犯について」の講話と「非常時の刺叉の取り扱い、護身術」の実技訓練の2部構成で行いました。

実際に起こりうる犯罪を想定し、その状況における対処法を学ぶことで、いざという時の対応ができるようひとりひとりが意識していかなければならないと感じました。今後も皆様にとって安心・安全な病院であるために継続して訓練を行ってまいります。



刺叉を使って実技練習



防犯訓練の様子

PCUでクリスマス会が開かれました！



ハンドベルの演奏



スタッフみんなでハイチーズ

12月12日(火)PCUの食堂にてクリスマス会が行われました。ボランティアの方のご協力によりお飲み物のサービスもあり、あたたかなおもてなしと共に先生たちからの歌のプレゼントや、看護師やスタッフからはリコーダー演奏やフルート演奏、ハンドベルの演奏のプレゼントがあり、また参加していただいた皆さんとクリスマスソングの合唱をしたり、にぎやかなクリスマス会となりました。そして、サンタさんとトナカイもやってきて、ひとりひとりにプレゼントが手渡されました。プレゼントをもらって皆さんとってもうれしそう！入院中でも季節を感じていただける行事を今後も企画して参りたいと思います。



サンタさんと赤鼻のトナカイも！



第96回 ふれあいコンサート

第96回 ふれあいコンサート／クリスマスコンサートが12月20日(水)に当院の1階レストランで開かれました。“オカリーナアンサンブル囀”によるオカリナ演奏では「赤鼻のトナカイ」や「エーデルワイス」など人気の曲が演奏され、そのやさしい音色に癒されました。“女声コーラス華&院内コーラスサークル”によるコーラスでは皆さんと共にクリスマスソングを合唱したりとクリスマスのひとときをお楽しみいただきました♪



オカリーナアンサンブル囀による演奏



うつくしい歌声に聞き入る皆様

かかりつけ医を
持ちましょう

連携医療機関のご紹介

* かかりつけ医を持ちましょう *

当院は高度医療の提供・急性期疾患への迅速な対応をする急性期病院の役割を担っています。急性期病院としての病院外来診療の役割は急性期の患者さまを診察することであり、症状が落ち着いたら地域の医院・クリニック等で継続治療していただくのが望ましいとしております。当院の医療を必要とする一人でも多くの急性期の患者さまのために、当院で治療を終えられた慢性期の患者さまには、安心して地域の診療所（医院・クリニック等）で診ていただけるよう、当院では医師会の指導のもと、診療所と連絡を取り合い連携を強化しております。

【かかりつけ医の役割】

かかりつけ医は、まず、患者さまの初期医療に当たります。病状によって高度な診療・検査等が必要と判断した場合には紹介状（診療情報提供書）を作成し、適切な医療機関での診療を案内します。

かかりつけ医

通常の診療



県立中央病院

入院・高度医療機器による検査・専門医診療



紹介

逆紹介

いけうち医院

院長 池内 利夫

病の原因は自身の生活（習慣）の中にも隠れている事があります。身体の変化を探りながら、原因を“ひとつ”と考えずに一緒に原因を治してゆければと思えながら診療しています。



■所在地：笠間市笠間1200
■電話：0296-72-1105

■診療科：内科
■診療受付時間：午前8:30～12:30 午後2:00～6:30
■休診日：水曜、土曜午後、日曜、祝祭日

ここでは患者さまやご家族の日常的な治療や健康管理を考えてくれる、地域の身近で気軽に相談できるかかりつけ医である医療機関をご紹介します。

医療法人 誠芳会「石本病院」

理事長 林 義智

当院は、笠間市で41年間地域に寄り添った医療を提供しております。入院一般病床45床をはじめ、外来では、土曜日・日曜日を含めて、地域の要望に応え、内科・外科診療、検査の提供を行い、地域の方々が安心して暮らせる医療環境を構築してまいりました。

また、超高齢化社会を迎え、介護老人保健施設 すみれ（併設事業所、短期療養・デイケア・訪問リハ・居宅）を併設し、医療と介護の連携を計り、地域の方々が住み慣れた環境で最期まで生活できますよう、地域包括ケアの一翼を担っております。今後もより多くのニーズに応えられますよう、平成28年11月から経営母体を変更し、水戸市で地域に根ざした医療・介護を提供している医療法人 鳳香会と共に活動してまいります。また、平成29年8月より獨協大学血液内科より中村幸嗣院長を新たに迎え、今まで行ってまいりました医療に加えて、更により高度の医療を提供していく所存です。



■所在地：笠間市石井2047
■電話：0296-72-4051

■診療科：内科、外科、整形外科、皮膚科、歯科
■診療時間：午前9:00～12:00 午後2:00～5:00
■休診日：木曜、祝祭日

かさま歯科

院長 今湊 良証

当院は平成3年、笠間市笠間にて開院しました。歯科医師2名、歯科衛生士2名、歯科助手2名にて小児から高齢者まで御家族皆様の地域のかかりつけ歯科医院として信頼関係を得られる様に日々心がけて診療しております。現在の状況を口腔内カメラや位相差顕微鏡、必要に応じてCT撮影にて診断説明し、治療器具、切削器具を患者様ごとにクラスB滅菌器対応しております。地元笠間市の診療所としてのみならず茨城県歯科医師会学術担当事務として県立中央病院とは、訪問歯科診療や周術期口腔機能管理など医科歯科連携や昨年開設の口腔外科大部部長と連携強化をしております。茨城歯科専門学校の臨床実習施設としても対応しております。



■所在地：笠間市笠間1542-5
（笠間市役所笠間支所前）
■電話：0296-72-7737（電話予約可）

■診療科：歯科、小児歯科、矯正歯科
■診療時間：午前9:30～13:00 午後2:30～7:00
■休診日：水曜、日曜、祝祭日

地域連携 だより

地域連携機関の皆さま方には当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、患者さまにおかれましても常日頃ご支援をいただき、誠にありがとうございます。地域連携だよりのコーナーでは当院の情報をお知らせいたしますので、今後とも宜しくお願いいたします。

各診療科のご紹介



総合診療科

部長 ^{せき} 関 ^{よしもと} 義元

当科は、総合診療科としては歴史が古く、20年以上前から当院内で診療を行っています。

現在、スタッフ4名(内、育児短時間勤務者1名)、当院プログラム

の後期研修医(専攻医)1名(3名が院外研修中)に加え、初期研修医を常時2-4名受け入れています。

日本では、施設によって総合診療科の役割は異なります。専門性が確立していない、ともいえますが(我々は、あまり気にしていません)、その場にあった診療を行う、ということは、比較的共通した特徴といえるでしょう。前任の当科責任者である植草義史先生(現 北茨城市民病院病院長)から引き継いだ「Disease-oriented MedicineからPatient-oriented Medicineへ」を変わらぬモットーとして、入院患者(ほとんどが救急外来経由)の診療を中心に担当しています。現在、救急科・神経内科とグループ診療していますので、脳炎、脳卒中から、感染症、アナフィラキシー、不明熱、環境障害、多発外傷、中毒及び複数問題症例など幅広い疾患を担当し、日々、研修医と共に学び続けています。自分が患者さんと同じように弱い立場に立つことを常に想像しながら、診療にあたりたいと考えています。また、スムーズな専門医療への連携も常に意識しています。

当科スタッフは、総合内科専門医(指導医)・救急科専門医・日本プライマリ・ケア連合学会指導医等を取得しており、専門分化された病院医療の中で、診断のみならず治療も担当し、院内救急対応を含め、院内の調整役を担っています。私自身は、災害医療・救急医療(中毒)・緊急被ばく医療には、多少の専門性があります。

当科での診療にあたっては、病診連携室を通じて外来をご予約頂くのがスムーズです。当科宛の紹介であっても専門診療科受診が適切であれば、そのように調整します。誰に相談したらいいか皆目見当がつかない(T-T)場合は、電話か電子メール(yoshimoto.seki@gmail.com 申し訳ありませんが、患者さんからの個別相談は受けられません。)で、私に直接ご相談下さい。一緒に悩みたいと思います。

—第12回— 「県民、患者さんへのサービス向上をめざして」

茨城県立中央病院
茨城県地域がんセンター

よし かわ ひろ ゆき
病院長 吉川 裕之



最近、当院の県民、患者さまへのサービスについて、早急に改善が必要なことを痛感しており、改革を進めております。標準医療の実施、インフォームドコンセント（説明と同意）の徹底や個人情報保護など、病院にとって根本的、本質的な医療サービスを進めてきた一方で、身近なサービスやアメニティの改善が特に遅れていたと反省しております。院内でもさらなる改善のアイデアやプロジェクトを募集しておりますが、県民、患者さまからのご提案もお待ちしております。ぜひご意見箱にお寄せ頂きますようお願いいたします。

ここで、今年度に改善したこと、そして現在改善に取り組んでいる事柄を少しご説明させていただきます。

1. 交通アクセスについて

午前11時台の友部行きの路線バスがございませんでしたが、茨城交通と交渉し、平成30年度から2本ほど運行予定となりました。また、タクシー乗り場をわかりやすく明示しました。タクシーを呼ぶ際にはタクシー会社の電話番号を総合案内と夜間出入り口に掲示しておりますので、そちらをご覧ください。また、ホームページに東京、水戸方面から電車でのくる方のために時刻表を掲載いたしました。

2. アメニティの向上について

当院は1階に売店がございますが、1階まで来るのが困難な患者さまのために、自動販売機を5階エレベーター前に1台設置し、現在3階アトリウム前にも設置を準備しております。設置後にはアトリウム内でもご飲食いただけるよう進めており、周辺にはトイレの設置も検討しております。現在、各病棟にあります食堂の机、いす等を入れ替え、面会時にデイルームとして快適にご使用いただけるようにいたします。携帯電話の使用に関しましても、デイルーム等でも使用できるよう制限緩和に努めてまいります。

3. ご意見箱への対応について

これまでのご意見箱への回答はかなり限られておりましたが、代表的なご意見に関しましては月に1回、回答を掲示することにいたします。

4. セカンドオピニオンのための受診について

当院におけるセカンドオピニオン受診数は年々増加しています。昨年度は100件を超えました。

5. ホームページや広報誌での情報提供について

当院の取り組みや様々な情報をいち早くお届けするため、ホームページの更新に努めています。ホームページに掲載される各診療科、各センターの実績は今年度末に更新予定です。手術数、新入院患者数、救急搬送数などの臨床評価指数も開示しています。年4回発行しております広報誌ほっとタイムズではページ数を増やし、健康に関する情報、各部門の紹介、地域の連携施設の紹介などを掲載しています。

6. 外来の待ち時間短縮への対応について

今年度に行われました10月の電子カルテ更新時には特にご迷惑をおかけしました。待ち時間短縮につきましては改善に苦勞しているところではありますが、継続して改善に努めて参ります。

7. 病院給食のサービス向上

平成29年度から委託業者に切り替えて、食事内容の改善だけでなく、お箸やスプーン、お茶をつけるなどサービス面も向上させました。

8. 衣類レンタル等

衣類、タオル、おむつなどのレンタル提供を本年度から導入しました。

9. 国際化への対応

まず、外来の案内表示などで少しずつ英語表記を取り入れ、将来的には多言語対応についても検討してまいります。

10. ボランティア活動

平成22年からボランティアの方による活動を開始しましたが、さらなるサービス向上のため、業務内容を見直し、平成30年度からは外来案内、車いす送迎、コンサートなどボランティア内容を厳選し、これまで以上に患者さまサービスに活躍していただきます。また、すぐにボランティアと分かるように来年度からエプロン・名札を着用いたします。

11. 公開講座について

県唯一の都道府県がん診療連携拠点として、毎年がんに関する公開講座を水戸、つくばで開催しております。かつてのテーマは、「肺がん・肝臓がん、胃がん、大腸がん、乳がん」だけでしたが、平成27年度は前立腺がん、平成28年度は女性のがん（乳がん、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん）平成29年度は血液のがん（白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫）など幅広くがんに関するテーマを取り上げ、公開講座を開催しました。平成30年度は脳腫瘍と頭頸部がんをテーマに開催します。

また、毎年2月には病院ロビーでも公開講座を開催しています。こちらはがんだけでなく、予防医療や健康に関することなど幅広い題材を取り上げております。昨年度のテーマは「大きく変わったワクチン事情～みんなを守るワクチンの話～」[「いまだきの子育て～みんな、いっぱい、おっぱいでるよ～」][「知っておきたいがん検診～その種類と内容～」]でした。今年度も平成30年2月24日(土)に当院ロビーで開催いたしました。

まだまだ皆様方にはご不便をおかけすることがあるかと思っておりますが、スタッフ一丸となってサービス向上に努め、よりよい病院作りを目指して参ります。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

インフルエンザ まだまだ流行中！ ～日頃からの予防が大切!!～



今年はインフルエンザにかかる方が急増しています。インフルエンザに限ったことではありませんが、普段から規則正しい生活をし、バランスの取れた食生活や十分な睡眠を心がけるなど、免疫力を高める生活をしましょう。もちろん、正しい手洗いや人込みを避け、外出時にはマスクをするなどインフルエンザの感染予防も忘れずに！



PCUひなまつり会



2月20日にPCUでひなまつり会が開かれました。🍀しゃくとひおうぎ笏と檜扇を縦笛に持ち替えたお内裏様とお雛様、そしてスタッフによる縦笛の演奏やオカリナ演奏、そして看護局スタッフによるコーラスを甘酒を召し上げて頂きながら楽しみました。



非常勤職員の募集

- ・職 種：看護師
- ・募集人員：10名程度
- ・雇用期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日 契約更新有り(条件有り)
- ・業務内容：外来診療、病棟診療の看護業務、診察の補助、医師の指示による採血や注射点滴等の業務、患者さんの状況把握等。
- ・資 格：看護師免許
- ・賃 金：時給1,133円～1,583円 他に賞与有り(院内保育所利用可)

- ・勤務時間：9:00～16:00または8:30～15:30
(原則として、この中で週29時間勤務)
勤務日・時間等は相談して決めます。
29時間以内をご希望の方もご相談ください。
進学や介護などにより、月に数日だけ夜勤希望の方もお受けします。
夜勤の場合の賃金・勤務時間については、別途協議いたします。

多くの女性スタッフが活躍中！
仕事と家庭の両立もサポート。

ご連絡先：事務局総務課 鈴木
☎0296-77-1121(内線2741)

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121 ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>